

安心して子どもを
 生み育てられる
 環境づくりと
 文化芸術を
 生かした
 地域づくり



大槌町会場



※写真撮影のためマスクを外しています。

県民と県議会との意見交換会

平泉町会場



※写真撮影のためマスクを外しています。

県民と県議会との意見交換会

県議会では、定期的に県民の皆さんとの意見交換会を行っています。
 令和4年度の前期は、4月22日に大槌町、4月27日に平泉町を会場に開催しました。

大槌町会場では「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」をテーマに、妊娠、出産、子育てに関する課題や支援策などについて意見を交わしました。

また、平泉町会場では「県南地域における文化芸術を生かした地域づくり」をテーマに、地域の特徴を生かした文化芸術活動の取り組みや地域振興などについて意見を交わしました。

参加者の感想

神谷 未生さん
 (大槌町会場/大槌町在住)

名古屋市の出身で東日本大震災津波の復興支援を機に大槌町に来て、こちらで結婚しました。今日は思いを伝えられる良い機会をいただきました。沿岸地域は産科が少なく、安心して子どもを生み育てられる環境とは言い難いです。日曜日に子どもを預けられる所がなく、子どもが遊べる公園や屋内施設がないことに不便を感じています。子育て支援は各自治体が単独で行っていることが多いですが、三陸沿岸道路も全線開通したので市町村を越えて連携できる施策があるといいと思います。

板垣 崇志さん
 (平泉町会場/るんびにい美術館アートディレクター)

るんびにい美術館は、知的障がい者の作品を中心に展示していますが、それに限らず命やあらゆるものについて感じ、考えていただく美術館です。文化は人と人をつなぐ力、人間が人間を肯定する大事な鍵になり、SDGsに掲げる「誰一人取り残さない社会」にもつながります。誰もが幸せになるために文化は必要であり、文化を大事にする施策は人間を大切にするものだと思います。今日は議員の皆さんが関心を持って文化芸術の未来を探っていることが伝わってきて心強く感じました。

※詳しい内容は県議会ホームページでご覧になれます。

5月臨時会のあらまし

5月臨時会は5月27日に開催されました(会期は1日)。

令和4年度岩手県一般会計補正予算(第2号)、岩手県県税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについての2件の議案は同日に可決・承認されました。

議決の状況

- ◎令和4年度補正予算【可決】 一般会計1件
- ◎専決処分【承認】 岩手県県税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めることについて

6月定例会

6月定例会は、6月21日から7月5日まで開催されました。知事から提出された令和4年度岩手県一般会計補正予算など24件の議案は全て可決・同意され、議員や委員会が提出した計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書など11件の議案は、10件が可決、1件が否決されました。請願は6件が採択、3件が不採択となりました。



採決の様子

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧になれます。

- ◎令和4年度補正予算案【可決】 一般会計1件
- ◎条例議案【可決】 県議会議員又は知事の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにピラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例など11件

- ◎人事議案【同意】 人事委員会の委員の選任に関し同意を求めることについてなど2件
- ◎その他の議案【可決】 一般国道107号大石地区仮橋(鋼管杭)製作工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについてなど10件
- ◎議員・委員会提出議案【可決10件・否決1件】 意見書9件、条例2件(詳細は3ページに記載)
- ◎請願 採択6件、不採択3件(詳細は2ページに記載)



いわて県議会だより

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY

令和4年6月定例会

第183号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テブ版・デジ版も用意していますので、ご希望の方は、県議会事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内

「いわて県議会だより第182号」から、音声データを岩手県議会ホームページに掲載しています。第183号のデータは、9月中旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを求める請願
- ▶新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願(総務委員会付託分)
- ▶新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願(環境福祉委員会付託分)
- ▶沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂の採掘をしないよう求める請願

▶東日本大震災被災者が必要な受診ができるよう求める請願

◎採択

▶低出生体重の子どもを育てる家族のためのリトルベビーハンドブックの導入に関する請願

◎不採択

- ▶防衛費を対GDP比2%以上に大幅増額することに反対する請願
- ▶mRNAワクチン接種時のインフォームド・コンセントのガイドライン策定に関する請願
- ▶新型コロナウイルス感染症の指定感染症等の指定解除を国へ求める意見書提出の請願

県政に関する質問から

6月27日から6月30日まで行われた一般質問では、12名の議員が質問に立ちました。その中から、それぞれ1項目を取り上げ、議員の質問と知事または関係部局長等の答弁の要旨を紹介します。

6/27(月) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目

いわて県民クラブ

ちば じゅん こ
千葉 純子 議員

【盛岡選挙区】



2人目

希望いわて

せきね としのぶ
関根 敏伸 議員

【北上選挙区】



3人目

自由民主党

ちば つとむ
千葉 伝 議員

【八幡平選挙区】



男女共同参画の推進に向けた部局連携

問 これまで男女共同参画は主に環境生活部で取り組んできたが、男女平等、雇用機会均等、男女の賃金格差の解消については環境生活部による取り組みだけでは難しいことから、商工労働観光部、保健福祉部とも連携して取り組んでいかなければならないと考えるが、見解を伺う。

答 県では、女性活躍推進本部会議において、子育て支援や働き方改革などの女性活躍に関連する取り組みについて全庁的な情報共有を図りながら施策を推進してきた。

令和4年度当初予算の議決に当たっては、若年女性の県外流出に歯止めをかけるため県内で働く女性が抱える課題を把握した上で、生み育てる環境の整備を図るほか、中長期的な戦略的施策を講じるよう意見が付され、一層の施策の検討が必要と認識している。

本年5月には、商工労働観光部、保健福祉部、政策企画部及び環境生活部の職員で構成する若者女性サポート・活躍推進緊急タスクフォースを立ち上げ、若者女性が抱える困難を把握し、労働施策や子育て支援などの施策を検討している。今後も庁内における情報共有や調査分析を行い、男女共同参画の推進につながる検討を進め、今年度策定予定のいわて県民計画第2期アクションプランへ反映させていきたい。



男女が共同参画している職場の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 岩手県における脱炭素社会の実現
- 2 県庁舎の建て替え
- 3 特殊詐欺被害の実態と被害防止策
- 4 若年層の薬物対策

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



近年の日本経済における岩手の位置づけと産業政策のあり方

問 岩手には良質の生産物を供給する農林水産業や再生可能エネルギーの潜在的可能性があり、世界に伍する自動車産業や半導体産業が立地している。食料とエネルギーは今後ますます重要性を増してくるが、ここ数十年間の日本国内における岩手の位置づけについての所感を伺う。また、今後、本県の産業政策をどのように舵取りしようとしているのか伺う。

答 平成から令和にかけて、本県は民間投資に恵まれ、世界最先端の工場の立地が相次ぎ、日本のものづくりをけん引する高度な基盤整備が進められてきた。加えて、3カ所の世界遺産などの豊かな観光資源を背景とした外国人観光客の増加や、県産農林水産物の評価の高まりは、県民所得の増加などに繋がったと考えている。

今後も、総合的な産業政策を展開することが重要であると認識しており、現在策定中のいわて県民計画第2期アクションプランにも、ものづくり産業の一層の集積と高度化や、本県の地域資源や特性を生かしたGXやDXなどの展開、全国有数の食料供給県としての地位をさらに高める農林水産業振興など、効果的な施策を盛り込んでおり、本県の産業振興を力強く推進していく。



岩手の観光資源

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 新型コロナウイルス感染症対策及び原油価格・物価高騰対策
- 2 就職氷河期世代への支援
- 3 いわて県民計画(2019~2028)とソフトパワー
- 4 日本海溝・千島海溝沿いで予想される地震・津波対策ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



畜産振興の現状と対策

問 配合飼料の価格は過去最高値を更新しており、加えて原油高や資材高も続いている。生産現場からは先行きが見通せない不安と、経営の厳しさを訴える声が多く聞こえている。畜産農家の経営の安定に向けて取り組む必要があると考えるが、県の現状認識と支援策について伺う。

答 配合飼料については、国の配合飼料価格安定制度において、価格上昇による畜産経営への影響を緩和するための補填金が交付されているが、令和4年1月から3月期の価格は、前年同期に比べて約2割上昇しており、畜産経営体の負担が増していると認識している。

このため、国に対して、配合飼料価格安定制度の基金が枯渇した場合にあっても、畜産経営体への補填金が満額交付されるよう、国が基金への積立金を拠出することや、配合飼料価格が高止まった場合においても、畜産経営体の再生産が可能となる十分な補填金が交付されるよう、制度の拡充を要望している。

また、県独自に配合飼料購入費の価格上昇分に対する配合飼料価格安定緊急対策費補助を本議会の補正予算案に盛り込んでおり、こうした取り組みを通じて畜産経営体への影響が緩和するよう取り組んでいく。



牧場の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)の取り組み
- 2 県北・沿岸振興
- 3 盛岡以北の道路整備
- 4 知事の政治姿勢 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



議員・委員会が提出した議案 ★意見書の本文は県議会ホームページでご覧になれます。

今定例会では意見書9件、条例2件が提出されました。

可決された意見書は、県議会から、内閣総理大臣をはじめ国会や国の関係機関などに提出し、その実現を図るよう強く要望しました。

◎意見書(可決)

- ▶ 計画的な教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- ▶ 東日本大震災津波の被災者が必要な医療を受けられるよう対策を求める意見書
- ▶ 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂の採掘をしないよう求める意見書
- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実、強化を求める意見書
- ▶ 学校における体罰、わいせつ行為等への対策強化を求める意見書
- ▶ コロナ禍における原油価格・物価高騰への更なる対策を求める意見書

- ▶ 児童養護施設の機能強化及び施設退所者の支援充実を求める意見書

- ▶ 難病対策の総合的な推進を求める意見書

◎意見書(否決)

- ▶ 物価高騰対策の強化を求める意見書

◎条例(可決)

- ▶ 県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正する条例
- ▶ 岩手県議会情報公開条例の一部を改正する条例

6/28(火) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。
※新型コロナウイルス感染症対策として、演壇に飛沫防止のアクリル板を設置したため、質問者の写真に照明等が反射している場合があります。

1人目
希望いわて
菅野 ひろのり 議員
【奥州選挙区】



2人目
自由民主党
佐々木 茂光 議員
【陸前高田選挙区】



3人目
希望いわて
岩城 元 議員
【久慈選挙区】



食料安全保障と水田活用

問 資源が乏しい日本においては、食料安全保障の観点が必要であり、農家の所得保障と価格政策に一体的に取り組む必要がある。水田から小麦や大豆への転作や**ブロックローテーション**の実施は、**水田活用の直接支払交付金**などの資金面での裏付けがあってこそ成り立つもので、自治体が政策誘導し作付転換させるだけでなく、国に対して価格と所得の保障を求める必要がある。水田をフル活用し、農業県・岩手としての責務をどう果たしていくのか、**具体的なビジョン**を伺う。

答 本県では、関係機関と組織する県農業再生協議会が策定した水田農業の推進方針に基づき、気象や立地条件を踏まえた転換作物の作付拡大を推進しており、県中南部などの水田地帯では大規模な麦などの生産が、中山間地では小区画の水田でも収益が確保できるピーマンなどの生産が定着してきている。
水田活用の直接支払交付金については、生産者が安心して転換作物の生産に取り組むことができるよう、地域の実情を踏まえた運用とすることや、必要な予算を十分に措置することなどを国に対して要望しており、今後も水田を最大限に活用し、主食用米と転換作物の最適な組み合わせにより、生産者の所得確保と食料の安定供給が図られるよう取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 物価高騰への対応
- 2 県立病院の再編と(仮称)地域医療基本法
- 3 周産期医療と男性の育児休業
- 4 不登校対策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



岩手県水産業リボーン宣言の取り組み

問 サケなどの主要魚種の不漁などが漁業者や漁業協同組合の経営に深刻な影響を及ぼす中、令和4年3月に県と水産関係団体が不漁に打ち勝つ!岩手県水産業リボーン宣言を公表した。漁業者が将来に夢と希望を持って就業できるよう、前例にとられない取り組みを期待しているが、**具体的な内容**を伺う。

答 岩手県水産業リボーン宣言は、関係者が一丸となって、主要魚種の資源回復、増加している資源の有効利用、新たな漁業や養殖業の導入を重点的に進め、不漁に打ち勝ち、本県の水産業を再生していく決意を表明したものである。

具体的には、サケ資源の回復に向けた大型で遊泳力の高い強靱な稚魚の生産、アワビなどの磯根資源の回復に向けた藻場の再生、ウニ資源の有効活用に向けたウニの蓄養・出荷、ホタテガイに比べ高温でも成長し、出荷までの期間が短いアサリの養殖の事業化、本県独自のサケ、マス類の海面養殖用種苗の開発などに取り組むこととしている。

こうした取り組みを通じて、県内外の消費者に新鮮で安全安心な美味しい岩手の水産物を届け、活力ある浜で夢と希望を持って働くことができる本県水産業の実現に向け、漁業関係団体と一丸となって、全力を挙げて取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 東日本大震災津波からの復興
- 2 道路交通ネットワークの整備
- 3 県内建設業の状況など
- 4 ツキノワグマ対策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



安定的な食料供給に向けた県の役割と取り組み

問 世界人口の増加や異常気象の頻発などにより、食料の需給をめぐる国際情勢が不安定さを増している中、食料自給率の向上は国力の向上そのものだと考える。我が国では食生活の多様化が進み、大量の農産物を輸入しており、食料自給率の向上は喫緊の課題となっているが、国民に食料を安定的に供給していくため、本県はどのような役割を担い、どのような取り組みに注力しているのか伺う。

答 食料自給率が100%を超える本県は、我が国の食料供給基地としての役割を果たしていくことが重要である。一方、国際情勢の変化、農林漁業者の減少や高齢化など、農林水産業を取り巻く環境が大きく変化中、喫緊の課題への対応とともに担い手の確保・育成や農林水産業の体質強化などが課題となっている。このため、県では、国の原油価格・物価高騰等総合緊急対策の活用、配合飼料価格の上昇や省エネルギー化の取り組みに対する独自の支援策を本議会の補正予算に盛り込むとともに、いわて県民計画に基づき、新規就業者の確保・育成や、先端技術を活用した生産現場のイノベーションの推進など、本県が食料供給基地としての役割を引き続き果たしていけるよう取り組んでいく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 再生可能エネルギー
- 2 地域医療
- 3 雇用労働対策
- 4 防災対策 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



1人目
自由民主党
ささきのぶかず
佐々木 宣和 議員
【宮古選挙区】



2人目
いわて新政会
たかはし たしま
高橋 但馬 議員
【盛岡選挙区】



3人目
社民党
きむら ゆきひろ
木村 幸弘 議員
【花巻選挙区】



漁業協同組合経営への支援

問 本県の主要魚種である秋サケ、サンマなどの近年の不漁は、沿岸部の基幹産業である水産業に深刻な影響を及ぼしており、個々の漁業者の経営に悪影響を与えているほか、漁業協同組合も厳しい経営状況にある。不漁による漁業協同組合経営への影響に対する県の認識と、経営に大きな打撃を受けている漁業協同組合に対する県の支援について伺う。

答 県内の漁業協同組合は、秋サケなどの主要魚種の不漁により、定置網などの漁業自営事業や販売事業で十分な収益を確保できず、令和3年度決算では24のうち16の漁業協同組合が当期損失金を計上する見込みとなっている。

県では、資金繰りの改善に活用可能な借換資金への利子補給を行っており、資金需要の増加を想定し、令和4年度当初予算では利子補給に要する経費を増額している。また、国では、不漁などにより経営が悪化した漁業協同組合が経営基盤の強化に必要な資金を円滑に調達できるよう、利子や保証料の助成などを行う金融支援を実施している。

県としては、経営状況に応じて、国や県の支援措置の活用を促すとともに、漁業関係団体と連携しながら経営改善指導を行っており、引き続き漁業協同組合経営の安定化を支援していく。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策
- 2 商工業の振興
- 3 道路の整備と維持管理
- 4 デジタル化への対応 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



岩手県の情報セキュリティ対策

問 サイバー攻撃の脅威が高まっており、いつ本県がサイバー攻撃を受けてもおかしくない状況にある。

県として現状のリスクをどのように認識しているのか、リスクに対する有効な対策への考え方とあわせて伺う。

答 近年、本県のメールアドレスに対して月100万通を超える不審メールが送信されるなど、サイバー攻撃のリスクが高まっていると認識している。

県の情報を取り扱うシステムを様々な脅威から守ることは、県民の財産、プライバシーを守り、行政の安定的な運営を行うために必要不可欠である。

近年のデジタル技術の普及や高度化、サービスの拡大により、リモートワークやクラウドサービスをはじめとする外部サービスの活用などが進んでいることから、情報漏えいなどのセキュリティ対策の強化を図り、常に情報へアクセスできる状態を確保することが重要である。

このため、入口対策として高度なセキュリティ監視、情報漏えい対策としてインターネット接続系ネットワークとマイナンバー利用系ネットワークなどの分離、出口対策として、職員利用端末のウイルス対策強化など、多層的な対策を講じている。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 観光振興
- 2 県立高校におけるICT機器を活用した学びの保障
- 3 スポーツを核とした地域活性化
- 4 農業の担い手の確保と育成 ほか

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



憲法改正に対する知事の所見

問 令和4年5月の日米首脳会談では、日米同盟強化、日本の防衛費の増額、敵基地攻撃能力と言われる反撃能力などが確認された。戦後77年間、平和憲法という立憲主義に基づいて権力の暴走を抑制し、国際社会において非戦を掲げ、国際的信頼と経済的友好関係によって、その地位を高め、我が国の発展に貢献してきた世界に誇れる憲法を改正しようとする政治姿勢について、知事の所見を伺う。

答 日本国憲法は、さきの大戦とそこに至る日本のあり方について、深い反省のもと、過ちは二度と繰り返さないという国民的な決意として、平和主義を基本原理に掲げている。その平和主義を具体化する第9条は、国際の平和及び安全を維持するという国際連合憲章の理念にも合致し、極めて重要な条文であることから、今後とも日本国憲法の原則として維持されなければならないと考える。

こうした過去の反省と、国連憲章もうたう平和の誓いを国民的に共有することなく第9条を変更することは、憲法の改悪と断言していいと考える。

日本国政府に対しては、憲法の趣旨を尊重し、近隣諸国との友好や、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に求めることを期待している。



■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 武力行使の正当化について知事の受け止め
- 2 非核三原則の遵守と核共有論の撤回
- 3 鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会への対応
- 4 本県における JR ローカル路線の維持と活用振興策

質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。



用語解説

▶GX(2ページ) …グリーン転スフォーメーションの略。2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするというカーボンニュートラルの実現に向け、企業や生活者の意識・行動などを含めた経済社会システム全体を変革すること。

▶DX(2ページ) …デジタル転スフォーメーションの略。データとデジタル技術を活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、文化・風土を変革すること。

▶配合飼料価格安定制度(2ページ) …配合飼料価格の上昇が畜産経営に及ぼす影響を緩和するため、生産者に対して配合飼料価格の変動によって生じる損失を補填する制度。

▶ブロックローテーション(3ページ) …田畑輪換の一形態。地域内の水田を数ブロックに区分し、転作するブロックを毎年換えて地域で転作を循環させること。

▶水田活用の直接支払交付金(3ページ) …水田のフル活用を推進し、食料自給率・自給力の向上を図るため、水田で麦、大豆、飼料用米、米粉用米などの作物を生産する農業者に対する交付金。

1人目
いわて新国会
千葉 盛 議員
【大船渡選挙区】



2人目
公明党
小林 正信 議員
【盛岡選挙区】



3人目
無所属
上原 康樹 議員
【盛岡選挙区】



岩手県の原油価格・物価高騰対策

問 円安や原油価格高騰などにより県民の生活への不安が増している中、県は64億円規模の岩手県原油価格・物価高騰対策パッケージにより、県民の生活支援、事業者支援を行っていきとされている。県民の暮らしを守るために事業の速やかな実施と切れ目のない支援が必要と考えるが、今後さらなる追加対策を講ずる考えがあるのか、知事の見解を伺う。

答 ロシアによるウクライナ侵攻などの影響により、世界規模で不確実性が高まり原油や穀物などの国際価格が高い水準で推移していることを踏まえ、国は令和4年4月にコロナ禍における原油価格・物価高騰等総合緊急対策を策定した。

本県では、全国に先駆けて総額64億円余の岩手県原油価格・物価高騰対策パッケージを取りまとめ、子育て世帯や中小企業者などへの幅広い生活者・事業者支援のため、累次の補正予算を編成してきた。まずは必要とされる方にこれらの支援が迅速かつ確実に届くよう、着実に取り組みを進めていく。

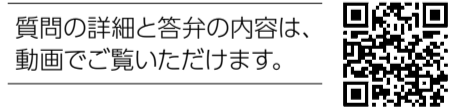
今後、物価高騰などに伴う消費マインドの悪化や実質購買力の低下を通じて、長期的に民間消費や企業活動の減退を招く可能性があることから、県民の暮らしに与える影響を注視し、必要に応じて追加の支援策の検討を進めていく。



岩手県原油価格・物価高騰対策パッケージ(支援金・家賃補助)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 震災復興と沿岸振興
- 2 水産業の振興
- 3 環境施策
- 4 医療福祉政策



災害ケースマネジメントの展開

問 東日本大震災津波を経験した本県こそ、災害が発生した際に**災害ケースマネジメント**を展開できるよう、平時より準備を行い、様々な主体との連携を行っていきべきと考えるが、知事の所見を伺う。

答 県では、東日本大震災津波の後、被災者に対する迅速かつ的確な支援につなげるため、市町村が被災者一人ひとりの被害状況や支援の実施状況を管理できるよう被災者台帳システムを整備するとともに、令和2年度までの間、沿岸4カ所に被災者相談支援センターを、盛岡市にいわて内陸避難者支援センターを設置し、相談員や弁護士などによる被災者個々のケースに応じた相談対応を行ってきた。

また、令和3年度からは、経済面や生活設計などで複雑かつ多様な課題を抱える被災者を支援するため、釜石市にいわて被災者支援センターを、盛岡市にサブセンターを設置し、専門家、市町村、社会福祉協議会などと連携して被災者一人ひとりの状況に応じた支援を行っている。

県としては、これまでの成果と課題を踏まえ他県の取組事例や、国が作成・公表を予定している災害ケースマネジメントの標準的な手引書を参考にしながら住宅再建や生活資金、健康面など、被災者が抱える多様な課題に対応できる総合的な支援体制について検討していく。

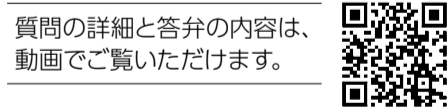
紹介事例の概要

盛岡市(宮城県)	東日本大震災(2011年3月11日)
岩手県大船渡市の被災者生活再建支援センターに併設し、避難者支援センターとして、被災者に対する迅速かつ的確な支援を行う。	
盛岡市(岩手県)	東日本大震災(2011年3月11日)
東日本大震災による事業継続が困難となった小規模事業者の復興支援に、専門の支援員を配置し、被災者に対する迅速かつ的確な支援を行う。	
盛岡市(岩手県)	平成29年台風第10号(2016年9月30日)
台風被害を受けた被災者に対する、緊急避難者としての支援を行うとともに、避難者生活の安定化を図るため、被災者に対する迅速かつ的確な支援を行う。	

災害ケースマネジメントに関する取組事例 出典:内閣府HP

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 脱炭素社会の実現
- 2 公民連携
- 3 健康増進施策
- 4 子育て支援 ほか



公教育現場における平和教育

問 ロシアによるウクライナ侵攻により、改めて平和な世界の尊さを育み続けることが求められている。公教育の現場で、平和教育はどのように行われているか伺う。また、今後、若い人々への平和の心を継承する取り組みをどのように展開していくのか伺う。

答 令和4年度から高等学校学習指導要領において、地理歴史科や公民科の目標は、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質・能力を育成することとされており、国際理解について諸資料に基づいて考察したり、幸福、正義、公正などに着目しながら現代の諸課題を主体的に考えたりする学習活動が行われている。

国語や英語の授業では、国際協調の精神を高めるのに役立つ教材を用いて学習し、平和な共生社会を築き、国際社会に貢献する態度を育成するとともに、学校行事では、修学旅行で広島や沖縄を訪れた際に、原爆投下や沖縄戦に関する史跡や資料館を見学し、戦時中の体験を聞くなど平和に関する教育に取り組んでいる。

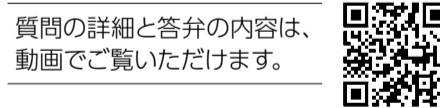
さらに、高校生平和大使の活動に本県の生徒も参加し、国連欧州本部への訪問や平和に向けた署名活動などを主体的に行っており、今後も平和に関する教育の一層の充実に努め、学校や生徒の取り組みを支援していく。



新しい学習指導要領リーフレット表紙 出典:文部科学省HP

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 津波への備えと心のケア
- 2 岩手の漁業
- 3 岩手の魅力
- 4 知事の県政運営と政治姿勢 ほか




▶災害ケースマネジメント(5ページ)…被災者が抱える多様な課題を解決するため、一人ひとりの被災者の状況を丁寧に伺い、関係者が連携して必要な支援を行う取り組み。



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、6月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立盛岡農業高等学校 吉村 衣乃 さん

私たち高校生にとって県議会は馴染みのないものです。誰が、どんなことを、何のために県議会で話し合っているのかわかりません。しかし、これから岩手県の未来を支えていくのは私たちです。より良い岩手県の未来を築いていくためにも、まずは難しく考えず、気軽に県議会の傍聴に参加する高校生が増えれば良いと思います。ポスターにしました。



常任委員会の活動状況

県の仕事は教育や福祉、環境問題など、その領域は広く、また複雑化しています。

このため、県議会ではこれらの問題を効率よく専門的に審査し、限られた会期中で多くの議案や請願陳情を審議するため、5つの常任委員会を設けています。常任委員会では、付託された議案等を審査するほか、委員会単位で現地を訪問し、課題の調査等を行っています。

ここでは、6月定例会において各常任委員会で審査した議案及び請願と、5月に行った現地調査をご紹介します。

○総務委員会（菅野ひろのり 委員長）

6月定例会で審査した議案及び請願

【議案】

議案第2号 県議会議員又は知事の選挙における選挙運動用自動車の使用並びにビラ及びポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例

議案第3号 公文書の管理に関する条例 ほか11件

【請願】

受理番号第71号 新型コロナウイルス感染症対策、大規模災害に対応する体制確保、ふるさと振興の推進等のための地方財政の充実・強化を求める請願 ほか1件

現地調査

◎(令和4年5月18日～19日)

【調査先】詩の国秋田株式会社(秋田県秋田市)

【調査事項】地銀発地域商社による海外展開について

【調査先】秋田県

【調査事項】秋田県の新エネルギー産業戦略について

【調査先】秋田県美郷町

【調査事項】アウトドア活動の促進による地域活性化について

【調査先】岩手県防災航空センター(花巻市)

【調査事項】防災ヘリの運用について



詩の国秋田株



岩手県防災航空センター

○文教委員会（千葉絢子 委員長）

6月定例会で審査した議案及び請願

【議案】

議案第21号 県立野球場条例の一部を改正する条例

議案第22号 野球場の管理等に関する事務の委託の協議に関し議決を求めることについて ほか2件

【請願】

受理番号第69号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げを求める請願

現地調査

◎(令和4年5月18日～19日)

【調査先】一般社団法人わらび座(秋田県仙北市)

【調査事項】一般社団法人わらび座の教育事業等について

【調査先】公立大学法人国際教養大学(秋田県秋田市)

【調査事項】国際教養大学における人材育成について

【調査先】秋田県

【調査事項】秋田県における学力向上の取り組みについて

【調査先】秋田県大仙市

【調査事項】大仙市の学校教育・大曲小学校の探究型授業の実践について



一般社団法人わらび座



大仙市

○環境福祉委員会（佐々木朋和 委員長）

6月定例会で審査した議案及び請願

【議案】

議案第1号 令和4年度岩手県一般会計補正予算(第3号)(環境福祉委員会付託分)

議案第19号 いわて男女共同参画プランの変更に關し議決を求めることについて

【請願】

受理番号第76号 東日本大震災被災者が必要な受診ができるよう求める請願 ほか5件

現地調査

◎(令和4年5月12日～13日)

【調査先】株式会社バイオマスパワーしずくいし(雫石町)

【調査事項】地域内資源循環の取り組みについて

【調査先】東北医科薬科大学(宮城県仙台市)

【調査事項】地域医療ニーズに対応した教育と養成医師の地域定着について

【調査先】株式会社環境保全サービス(奥州市)

【調査事項】太陽光パネルのリサイクル事業と今後の展望について

【調査先】特定非営利活動法人フードバンク岩手(盛岡市)

【調査事項】コロナ禍におけるフードバンク岩手の取り組みについて



株バイオマスパワーしずくいし



東北医科薬科大学

○商工建設委員会（佐藤ケイ子 委員長）

6月定例会で審査した議案

【議案】

議案第6号 緊急雇用創出事業臨時特例基金条例の一部を改正する条例

議案第11号 一般国道107号大石地区仮橋(鋼管杭)製作工事の変更請負契約の締結に關し議決を求めることについて ほか5件

現地調査

◎(令和4年5月19日～20日)

【調査先】岩手県立産業技術短期大学校(矢巾町)

【調査事項】実践技術者育成の取組状況について

【調査先】世嬉の一酒造株式会社(一関市)

【調査事項】酒造及び飲食事業へのコロナ禍の影響と今後の取り組みについて

【調査先】釜石ワーケーション施設Nemaru Port(釜石市)

【調査事項】釜石ワーケーション施設の運営状況について

【調査先】宮古港出崎地区しおかぜ公園(宮古市)

【調査事項】宮古港出崎地区の整備状況について



世嬉の一酒造株



宮古港出崎地区しおかぜ公園

○農林水産委員会（川村伸浩 委員長）

6月定例会で審査した議案

【議案】

議案第1号 令和4年度岩手県一般会計補正予算(第3号)(農林水産委員会付託分)

現地調査

◎(令和4年5月19日～20日)

【調査先】秋田県水産振興センター(秋田県男鹿市)

【調査事項】水産資源管理の取り組みについて

【調査先】NPO法人八峰町観光協会(秋田県八峰町)

【調査事項】半農半Xの取り組みについて

【調査先】株式会社アグリーンハート(青森県黒石市)

【調査事項】山間部休耕地を再生した高付加価値化の取り組みについて



秋田県水産振興センター



株アグリーンハート

特別委員会の活動状況

特別委員会は、特に必要と認める事項の審査や調査のために、本会議の議決で設置される臨時的な委員会です。

県議会では、東日本大震災津波復興特別委員会、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員会のほか下記の4つの特別委員会を設置しました。

委員会では、調査事項に関する学識経験者や専門家を参考人として招致し、それぞれの取り組みについて説明を受け、質疑・意見交換により議論を深めています。現地調査では、県内外の先進的な取り組みなどを調査しています。

ここでは、直近の4月に開催した委員会及び6月に行った現地調査をご紹介します。

○デジタル社会・DX推進調査特別委員会（佐々木宣和 委員長）

〈調査事項：デジタル社会及びDXの推進に関する調査〉

委員会の開催

◎(令和4年4月13日)

A P T E C H株式会社代表取締役の大西一朗氏を招き、DXによる医療の課題解決について調査を行いました。

現地調査

◎(令和4年6月7日)

[調査先] 株式会社アンドファーム(岩手町)
[調査事項] 株式会社アンドファームにおけるスマート農業の取り組みについて

[調査先] 岩手県農業研究センター
県北農業研究所(軽米町)
[調査事項] 県北農業研究所におけるスマート農業推進の取り組みについて



株アンドファーム



県北農業研究所

○地球温暖化・エネルギー対策調査特別委員会（柳村一 委員長）

〈調査事項：地球温暖化やエネルギーに関する調査〉

委員会の開催

◎(令和4年4月13日)

千葉商科大学基盤教育機構准教授の田中信一郎氏を招き、脱炭素地域のつくり方について調査を行いました。

現地調査

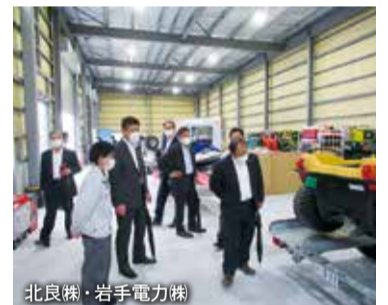
◎(令和4年6月7日)

[調査先] 株式会社マリンエナジー(釜石市)
[調査事項] 釜石市での波力発電の取り組みについて

[調査先] 北良株式会社・岩手電力株式会社(北上市)
[調査事項] 北良株式会社・岩手電力株式会社の企業活動について



株マリンエナジー



北良株・岩手電力株

○教育・子ども政策調査特別委員会（吉田敬子 委員長）

〈調査事項：教育や子育て環境に関する調査〉

委員会の開催

◎(令和4年4月13日)

認定特定非営利活動法人インクルいわて理事長の山屋理恵氏を招き、岩手県の子どもの貧困の現状と求められている対策について調査を行いました。

現地調査

◎(令和4年6月8日)

[調査先] ハロウィンターナショナルスクール安比校(八幡平市)
[調査事項] ハロウィンターナショナルスクール安比校の教育理念と多様な学びについて

[調査先] 児童養護施設みちのく・みどり学園(盛岡市)
[調査事項] 医療系児童養護施設における児童の支援について

[調査先] 通所介護施設フキデチョウ文庫(盛岡市)
[調査事項] 子ども食堂と子どもの居場所づくりの取り組みについて



みちのく・みどり学園



フキデチョウ文庫

○新産業創出・働き方改革調査特別委員会（ハクセル美穂子 委員長）

〈調査事項：新産業創出や働き方改革に関する調査〉

委員会の開催

◎(令和4年4月13日)

東日本機電開発株式会社代表取締役の水戸谷剛氏を招き、新事業の開拓に係る取り組みについて調査を行いました。

現地調査

◎(令和4年6月8日)

[調査先] 滝ノ上温泉 滝峡荘(栗石町)
[調査事項] 地熱バイナリー発電の取り組みについて

[調査先] 岩手大学 銀河オープンラボ(盛岡市)
[調査事項] 次世代技術の実証研究について



滝ノ上温泉



岩手大学

岩手県議会議員の選挙区と定数が一部変わります。

6月定例会において、県議会議員の定数等に関する条例の一部を改正する条例が可決されました。

この条例は、令和2年2月定例会で設置された「議員定数等検討会議」において、計21回にわたり検討した結果を踏まえ、議員提案により提出され、賛成多数で可決されたものです。

令和5年9月に予定されている次の一般選挙から適用され、選挙区は16選挙区から2選挙区減の14選挙区となり、また、令和2年国勢調査の人口に基づき定数が配分されることから、一部の選挙区で定数が変更となります。

改正内容

①盛岡選挙区の定数を1人増やし、11人とする。

選挙区	市町村名	定数	選挙区	市町村名	定数
盛岡	盛岡市	10	盛岡	盛岡市	11

②大船渡選挙区と陸前高田選挙区を合区し、名称を大船渡・陸前高田選挙区とし、定数を2人とする。

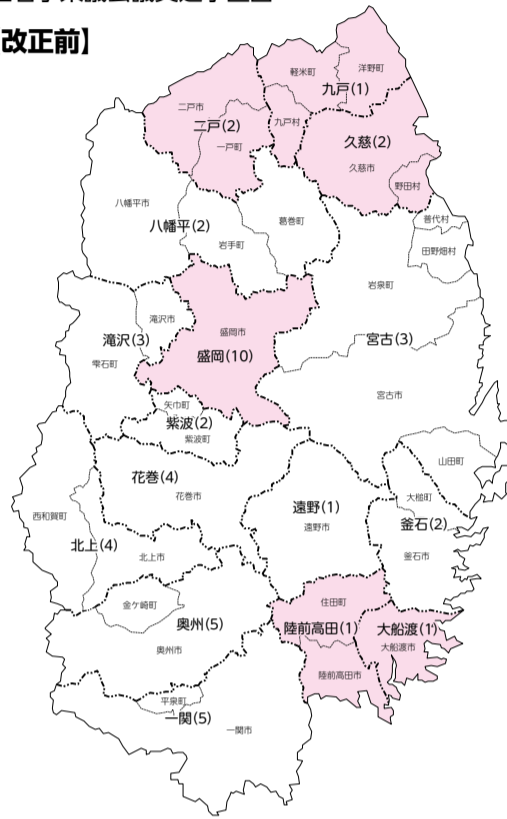
選挙区	市町村名	定数	選挙区	市町村名	定数
大船渡	大船渡市	1	大船渡・陸前高田	大船渡市	2
陸前高田	陸前高田市 住田町	1		陸前高田市 住田町	

③九戸選挙区を分割し、洋野町を久慈選挙区、軽米町及び九戸村を二戸選挙区とし、定数をそれぞれ2人とする。

選挙区	市町村名	定数	選挙区	市町村名	定数
久慈	久慈市 野田村	2	久慈	久慈市 野田村 洋野町	2
九戸	洋野町 軽米町 九戸村	1	二戸	二戸市	2
二戸	二戸市 一戸町	2		二戸市 一戸町 軽米町 九戸村	

■岩手県議会議員選挙区図

【改正前】



【改正後】



※1 カッコ内の数字は選挙区の定数 ※2 網掛けは見直しがある選挙区

議場見学の案内

岩手県議会では、開かれた議会を目指し、議場の見学を受け付けています。議場見学では、議会事務局職員が、議会運営の概要や議場内の施設を説明します。学校の社会見学、町内会の生涯学習行事など、お気軽にお越しください。

※本会議開催日など見学できない日がありますので、事前にお問い合わせください。

風邪のような症状がある方や、息苦しさ、強いだるさ、高熱等のある方は、見学をご遠慮願います。また、見学の際には、マスクを着用くださるようお願いいたします。

お問い合わせ・お申し込み先／岩手県議会事務局 総務課 電話：019-629-6006（直通） 電子メール：gikai@pref.iwate.jp

議場見学の流れ

- ①本会議場で議会に関する説明と質疑応答
- ②特別委員会室の見学
- ③記念撮影（希望される方）※カメラはご持参ください。（約20分。内容、時間は調整可能ですのでお問い合わせください。）



県議会からの お知らせ

●インターネット中継

県議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会の模様をライブ中継しているほか、録画中継も行っていますので、ぜひご覧ください。

●本会議のYouTube配信

一般質問の様子をYouTubeで動画配信しています。岩手県議会公式動画チャンネルからご覧ください。

岩手県議会公式動画チャンネル

検索



●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」

一般質問が行われた日に、質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビは18時50分台、岩手朝日テレビは18時40分台に放送します（放送時間は変更になる場合があります）。

●請願の提出について

請願の提出には、県議会議員の紹介（署名）が必要です。請願を提出する方は、審査を希望する定例会の招集日までに会派など（議員）に対して十分に説明を行い、議員の紹介を受



けた上で、請願審査が行われる常任委員会開催予定日の3日前の正午までに県議会事務局に提出してください。

なお、提出期限などの具体的な日時は、定例会ごとに会期などと併せて県議会ホームページでお知らせします。

●一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページでお知らせしています。

県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック！

●県議会ホームページ

県議会ホームページは、音声読み上げや文字サイズ・配色の変更ができるなど、どなたにも利用しやすい環境となっております。また、岩手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの岩手県議会」をYouTubeで公開しています。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>



©わんこきょうだい



ホームページのご案内

議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や請願・陳情の手続等をご覧いただけます。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

編集・発行・
問い合わせ先

岩手県議会事務局

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019) 629-6021・6022 FAX (019) 629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp



岩手県庁の隣です